

## 令和3年度第1回自立支援協議会就労支援部会 議事要旨

1. 開催日時 令和3年8月31日(火)午後1時30分～午後3時30分

2. 開催方法 オンライン

3. 出席者 (委員) \*団体名のみ記載

(特非) ワーカーズコープ、(株) 徳正、いちょうの会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安手をつなぐ親の会、(福) 敬心福祉会、(福) パーソナル・アシスタンスとも、(特非) かぷあ、(特非) タオ、(特非) 千楽 chi-raku、ウエルビー(株)、(株) オリエンタルランド、大東コーポレートサービス(株)、(株) リクルートスタッフィングクラブツ、浦安商工会議所、障害者就業・生活支援センターいちされん、市川公共職業安定所、千葉県立市川特別支援学校、千葉県立特別支援学校市川大野高等学園  
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

### 4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

- (1) 令和3年度・4年度の自立支援協議会について
- (2) 令和3年度就労ネットワーク会議の開催報告について
- (3) 令和3年度就労支援部会の運営とゴール設定について
- (4) その他

3. 閉会

### 5. 配布資料

議題(1)資料1 浦安市の課題と解決に向けて

議題(1)資料2 令和3年度・4年度浦安市自立支援協議会の組織と運用

議題(2)資料 令和3年度第1回就労支援ネットワーク会議報告

議題(3)資料 令和元年度・令和2年度地域生活支援部会の振り返り

### 6. 議事概要

(1) 令和3年度・4年度の自立支援協議会について

#### ■説明(リーダー・サブリーダー・事務局)

令和3年度・4年度の協議会運営概要について、組織改編や部会の主要課題について説明した(詳細、資料は第1回自立支援協議会の議事録を参照)。

#### ■主な意見

特になし

(2) 令和3年度就労ネットワーク会議の開催報告について

### ■説明（リーダー）

7月2日就労支援センターが開催した標記会議について議題を紹介。就労支援に係る課題について参加者の課題意識を議論したグループワークについて主な内容をリーダーより報告。

### ■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：就労ネットワーク会議、就労コミュニティ会議、就労支援部会はそれぞれどのような違いがあるのか。

事：就労ネットワーク会議は就労支援センター（市事業）が障がい者の就労支援促進のため、関係機関の連携を強化する目的で開催する会議であり、障がい当事者の参加はない。また、就労コミュニティ会議は行政主導ではなく、就労支援に係る事業所がざくばらんに意見交換をできる場として自主的に集まっている会議体。就労支援部会は自立支援協議会に位置づけられており、当事者団体、サービス事業者、行政・関係機関など様々な立場の委員により地域課題や体制の整備について議論する場である。

### （3）令和3年度就労支援部会の運営とゴール設定について

### ■説明（リーダー）

本部会の前身である地域生活支援部会において令和2年度までの議論の経過を事務局より紹介。地域課題として捉えられている事業所間連携の一助となるよう、就労支援に係る各事業所の詳細な内容をしるした「浦安はたらく場福祉マップ」を作成したことを報告。令和3年度就労支援部会のゴール設定について、地域課題を洗い出し、第2回部会、第3回部会で議論を進めていくことを共有し、委員の合意を得る。

本議題においては、委員が日頃より感じている就労に関する課題について意見を得た。

### ■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：本人のスキルと就労現場のニーズのズレ。

委：就労継続A、Bに通所できない段階の方も多。その前段階の支援ができる資源があればよい。

委：法定雇用率を達成していない事業所に就職できるような仕組みができないか（ハローワーク市川圏域で120社ほど満たしていない）。

委：重度心身障がいのある方や難病のある方の就労できる場所が少ない。ふる里学舎（就労B）で車いす利用者を受け入れてくれているが、コロナ禍で送迎も困難。在宅でできるB型があればよい。PC活用したB型などもあるとよい。

委：従来の「職に人材をあてがう」から「人材に合わせて業務を切り出す」方式へと移行しているが、まだまだ企業側は業務の中からどの部分を障がいがある方に提供できるか、のイメージが足りないのではないかと。

委：精神障がいのある方のための短時間就労の創出。

委：利用者の半分は都内に就職する（給料が高い、東京に隣接）。

委：コロナが大きく影響している。在宅ワークの求人は顕著に増えているが、高いスキルやネット環境が求められる。

委：それぞれの事業所が抱えているマッチングのズレを連携の場で共有していく。ニーズの不足するところが共有できれば、新規参入の事業所や既存事業所の改善の大きな参考資料となる。

委：飲食系、作業系など多ジャンルの選択肢があるとよい。

委：他の地域と比較しても市川・浦安圏域は一般企業が出している障がい者求人が顕著に少ない。特に浦安は少ない。一般枠で出ている求人に対して個別に交渉して障がいのある方の実習を受け入れてもらったり雇用につなげている。

委：車いすユーザーが就労できる場所が少ない。作業だけでなく支援もプラスアルファで提供されるとよい。

委：アンケートの結果、「どのように雇ったらいいのかわからない」という企業が多い。

委：雇用主側である企業の開拓が必要。障がい者理解の促進が必要なのではないか。

委：2年通過型の発達障がい者の地域活動支援センターを運営。すぐに就労につなげられる利用者はなかなかいない。まずは通所して生活リズム整える段階。その前の段階の人も多い。

委：あと一步、という生徒のいける事業所が増えるとよい

委：車イス利用者、視覚障がい者、聴覚障がい者が利用できる就労移行支援事業所（千葉県全体に言えること）がない

委：職種がもっと広がると選択肢が増える。

委：福祉サービス利用者も納税できるような仕組みがほしい

委：コロナ禍だがオンラインなどで事業者間で「なにができるか」意見交換をしていきたい

委：コロナでDM作業がなくなった（DM作業が好きな利用者が残念がっている）

委：事業所間で、作業受注についても紹介しあえたらよい。

委：生徒それぞれがどのような進路がよいのか。

学校としては様々な選択肢を提供したい。一般就労も福祉的就労、生活介護も社会貢献の形。

委：連携会議を通じて学校としてできることを考えたい。

委：就職に結びつかない卒業生の進路について相談、情報共有したい

委：3月に法定雇用率改定された。雇用促進のため、アンケートの実施や就職面接会の実施、周知をしているところ。

#### （4）その他（委員や事務局からの報告事項）

##### ■説明（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

事：9月30日に予定していた合同部会の延期について連絡した。延期後の日程は追って通知する。

##### ■主な意見

特になし